

今後の検討の進め方

2021年5月28日、6月3日

資源エネルギー庁電力産業・市場室

今後の進め方

- 電力データの活用は、様々な社会課題の解決や新たな価値の創造に資する。
- こうした恩恵を、安心して、広く国民の皆様にも享受いただけるようにするためには、多くの利用者にとって、使いやすい、参加しやすいプラットフォーム（仕組みやシステムなど）の構築が重要。
- また、こうしたプラットフォームは、規模の経済が働くため、データ利用者が増えれば増えるほど、フィージビリティが高まる。
- 一方、ニーズはデータ利用者毎に様々であり、プラットフォームに求められる機能も様々であると想定。多くの機能を求めれば、コストやスケジュールにも影響。
- このため、今後、データ利用者になる可能性のある事業者の皆様とともに、以下のような論点を議論していきたい。 ⇒「電力データの活用の在り方検討会」
- この事業の成功に向けては、本日御参加いただいている皆様の参画がカギとなる。ぜひ積極的な参画をお願いしたい。

※聴講者ではなく、プラットフォームの構築に向け、具体的な御意見を述べていただく出席者として御参画いただくことを想定。

<検討会において議論いただきたい論点の例>

- ◆ 電力データ提供システムの基本設計
 - ◆ 電力データの利用料金
 - ◆ 電力データの使用ルール
 - ◆ ユーザーにとって使いやすいオプトイン、オプトアウトのユーザーインターフェイス
 - ◆ 事業実施のスケジュール
- 等